

高等学校 令和6年度2学年用) 教科

保健体育

科目 保健

教科:保健体育	科目:保健	単位数:1	単位対象学
---------	-------	-------	-------

対象学年組:第2学年1組〜6組

教科担当者:(1組:鈴木)(2組:福代)(3組:小川)(4組:福代)(5組:福代)(6組:小川)

使用教科書:(現代高等保健体育)

教科 保健体育

の目標:

【知識及び技能】個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】健康について自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて試行し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身につけるようにする。	健康について自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて試行し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	A単元 【知識及び技能】安全な社会づくりには、環境の整備とそれに応じた個人の取組が必要であること。適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を軽減できること。心肺蘇生法などの応急手当を適切に行うことを理解する。 思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現すること。 健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】交通事故防止では、安全な運転や歩行など適切な行動、自他の生命を尊重する態度、補償をはじめとした責任が生じること学ぶ。思春期と健康においては、自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度が必要であること及び性に関する情報等への適切な対処が必要であることを理解できるようにする。	指導事項 安全な社会生活 1 事故の現状と発生要因 2 安全な社会の形成 3 交通における安全 4 応急手当の意義とその基本 5 日常的な応急手当 6 心肺蘇生法 生涯を通じる健康 1 ライフステージと健康 2 思春期と健康 3 性意識と性行動の選択 4 妊娠・出産と健康 5 避妊法と人工妊娠中絶 ・教材 教科書等	○	○	○	A単元 【知識及び技能】安全な社会づくりには、環境の整備と個人の取り組みが必要であることが理解できたか。応急手当には、正しい手順や方法、心肺蘇生法などの応急手当を適切に行うことを学ぶことができたか。 思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることを理解できたか。 【思考力、判断力、表現力等】安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現することができたか。 健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】交通事故には補償をはじめとした責任が生じることが理解できたか。思春期と健康においては、自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度が必要であることや性に関する情報等への適切な対処が必要であることを理解できるようになったか。	○	○	○	8
	定期考査		○	○	○		○	○	○	
				○	○	○		○	○	
2 学 期	B単元 【知識及び技能】生涯を通じて健やかに過ごすために、若いときからの自己管理を行い、生きがいをもつことが健康の保持増進に繋がることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】生涯を通じる健康に関わる事象や情報から課題を発見し、健康を支える環境づくりなどと解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択しそれらを説明することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】運動やスポーツに取り組み家族や友人などとの良好な関係を保つことなどを理解できるようにする。働く人の健康の保持増進は、ストレスに対する気付きへの援助、リラクゼーションの指導などメンタルヘルスケアが重要視されている	指導事項 生涯を通じる健康 6 結婚生活と健康 7 中高年期と健康 8 働くことと健康 9 労働災害と健康 10 健康的な職業生活 ・教材 教科書等1	○	○	○	単元 【知識及び技能】中高年期を健やかに過ごすために、若いときから健康診断の定期的な受診などの自己管理を行い生きがいをもつことが健康の保持増進に繋がることを理解することができたか。 【思考力、判断力、表現力等】生涯を通じる健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、健康を支える環境づくりなどと解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択しそれらを説明することができるようになったか。 【学びに向かう力、人間性等】運動やスポーツに取り組み、家族や友人などとの良好な関係を保つこと、地域における交流をもつこと関係することを理解できるようにする。	○	○	○	12
		単元 【知識及び技能】人間の生活や産業活動は、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染などの自然環境汚染を引き起こし、健康に影響を及ぼしたり被害をもたらしたりすることについて理解できるようにする	指導事項 健康を支える環境づくり 1 大気汚染と健康 2 水質汚濁、土壌汚染と健康 3 環境と健康にかかわる対策 4 ごみ処理と上下水道の整備 5 食品の安全性				【知識及び技能】人間の生活や産業活動は、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染などの自然環境汚染を引き起こし、健康に影響を及ぼしたり被害をもたらしたりすることについて理解できたか。 【思考力、判断力、表現力等】健康を支える環境づくりに関わる情報から課題を発見し、健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康を支える環境づくりなどと解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択しそれらを説明することができるようにする。			

3 学 期	【思考力、判断力、表現力等】 健康を支える環境づくりに関わる情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、 生活の質の向上、健康を支える環境づくりなど、解決方法を関連付けて考え、適切な整備や活用方法を選択し、それらを説明することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】健康を支える環境づくりについて、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などをお互いの相違を認め合うことができるようにする。	9 民間企業に力がかかる役割 7 保健サービスとその活用 8 医療サービスとその活用 9 医薬品の制度とその活用 10さまざまな保健活動や社会的対策 11健康に関する環境づくりと社会参加 ・教材 教科書等	○ ○ ○	課題を元にした対策やプログラムの性質、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなど解決方法を関連付けて考えそれらを説明することができるようになったか。 【学びに向かう力、人間性等】健康を支える環境づくりについて、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合いお互いの相違を認め合うことができるようになったか。	○ ○ ○	合計	27
-------------	---	--	-------	--	-------	----	----